

平成25年上尾市教育委員会1月定例会 教育長報告4

所属名 学校教育部 指導課

件 名	
平成24年度第2回上尾市生徒指導に関する調査結果について	
内 容 説 明	
平成24年度第2回上尾市生徒指導に関する調査（平成24年4月1日～12月31日）の結果について、資料のとおり、報告します。	
添付資料	添付資料名
<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	平成24年度第2回上尾市生徒指導に関する調査結果について（10・11ページ）

平成24年度第2回上尾市生徒指導に関する調査結果 <速報値>

- 1 調査名
平成24年度第2回生徒指導に関する調査（平成24年4月1日～12月31日）
- 2 調査結果の分析・考察

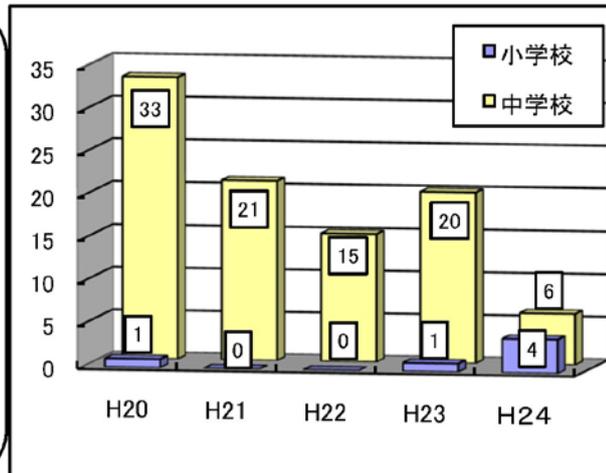
<暴力行為>

暴力行為発生件数（同時期における比較）

【件】

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年増減
小学校	1	0	0	1	4	3
中学校	33	21	15	20	6	-14
合計	34	21	15	21	10	-11

- (1) 小学校の発生件数は4件で、うち3件は同じ児童である。
- (2) 中学校の暴力行為は6件である。昨年度と比較して、14件減少している。
- (3) 中学校の形態別発生件数の昨年度との比較は、対教師暴力が0件で5件減少、生徒間暴力は5件で8件減少、対人暴力が3件で1件の増加（他校の生徒への暴力行為）、器物破損が3件で3件の増加である。



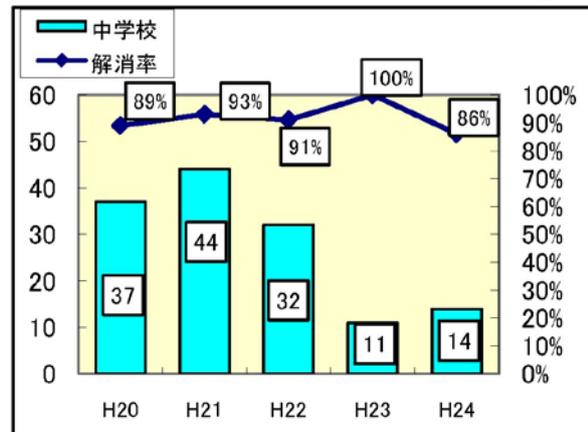
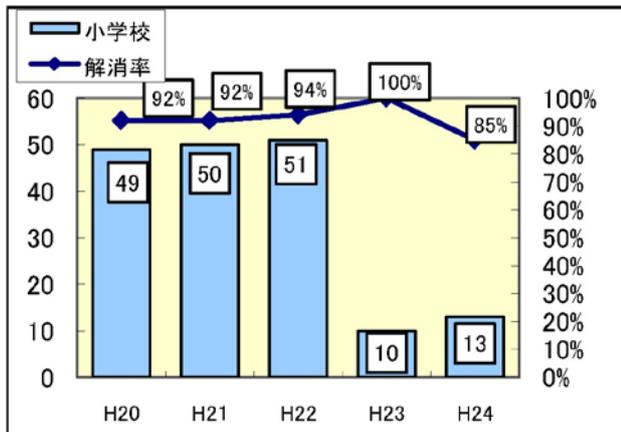
<いじめ>

いじめ認知件数（同時期における比較）

【件】

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年増減
小学校	49	50	51	10	13	3
中学校	37	44	32	11	14	3
合計	86	94	83	21	27	6

- (1) いじめについては、平成19年9月から月例報告が実施されている。また、平成22年からは新規にいじめを認知した場合の報告が実施されている。平成24年8月には、いじめ根絶対策会議を開催し、同年9月から全市一斉に毎月のいじめの調査、学期に一度の保護者対象のアンケート調査などが実施されており、いじめ根絶に向けた組織的な取組が行われている。
- (2) いじめの解消率は小学校が85%、中学校が86%であり、継続した組織的な指導と見守り体制の充実が重要である。



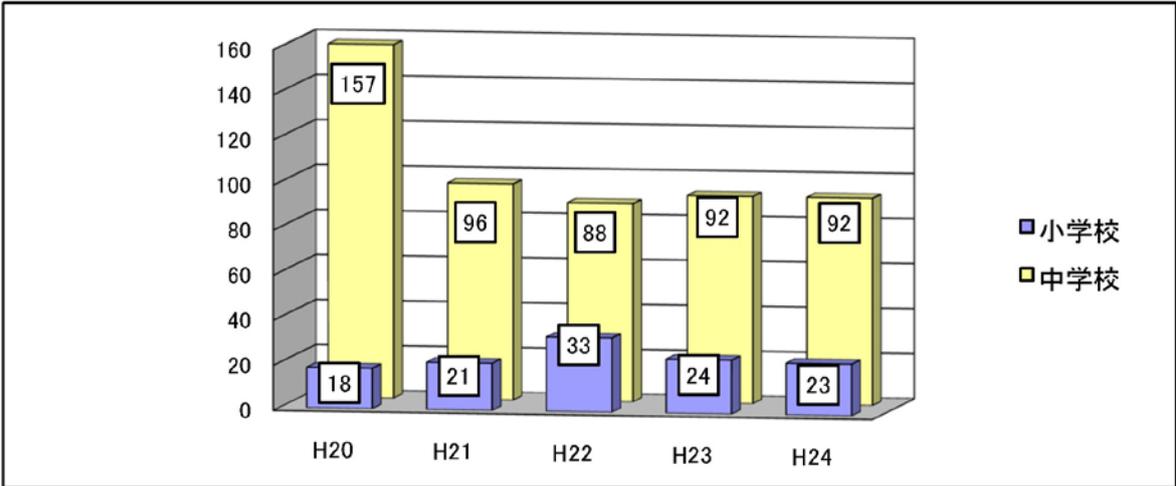
〈不登校〉

不登校児童生徒数（同時期における比較）

【人】

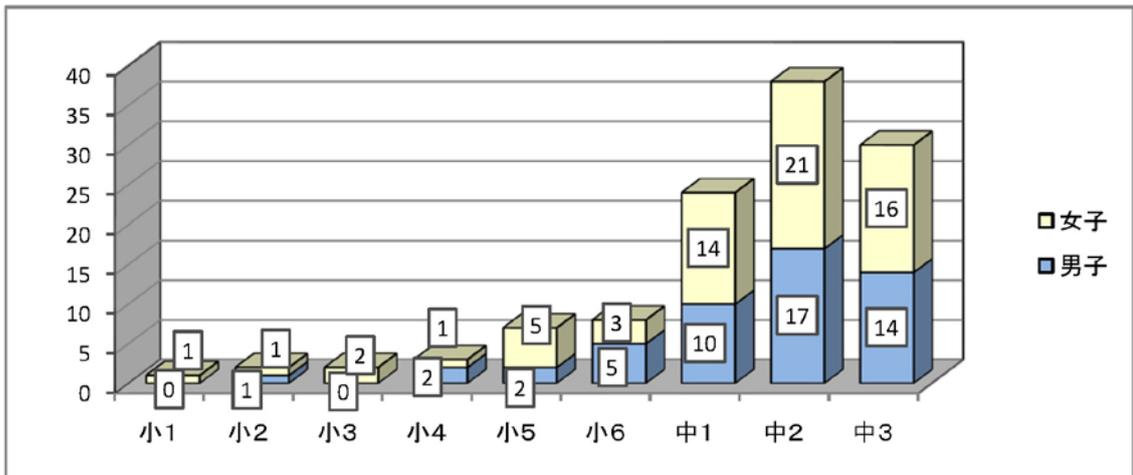
	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	前年増減
小学校	18	21	33	24	23	-1
中学校	157	96	88	92	92	0
合計	175	117	121	116	115	-1

- (1) 昨年度同時期と比較して、小学校は1名減少し、中学校は同数であった。全体では1名減少した。
- (2) 平成20年度より、小学校では、不登校児童が増加傾向にあったが、2年連続して減少した。中学校では、平成21年度より、ほぼ横ばいの傾向にある。
- (3) 欠席日数30日に満たないが、不登校傾向にある児童生徒が多数いることから、学校と市教育センターの連携をさらに緊密にし児童生徒に個別の対応を図ることが重要である。



学年別不登校児童生徒数（H24.4.1～H24.12.31）

	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
男子	0	1	0	2	2	5	10	17	14
女子	1	1	2	1	5	3	14	21	16



昨年度は小学校1・2年生の不登校児童は0名であったが、本年度は3名となった。5年生は2名増加し、6年生は6名減少した。中学校では、1・2年生の不登校生徒が大きく増加し、特に2年生は、13名の増加となった。3年生は19名の大幅な減少となった。